

1 2月定例記者会見の概要

- 1 日時 令和元年12月2日(月)9時30分～10時30分
2 場所 本庁舎3階 第一会議室

- 3 出席者 <報道機関>
朝日新聞社 南相馬支局(南相馬記者クラブ会員)
NHK 南相馬報道室(南相馬記者クラブ会員)
河北新報社 南相馬支局(南相馬記者クラブ会員)
共同通信社 福島支社(南相馬記者クラブ会員)
毎日新聞社 南相馬通信部(南相馬記者クラブ会員)
読売新聞社 南相馬通信部(南相馬記者クラブ会員)
福島民報社 南相馬支社(南相馬記者クラブ会員)
福島民友新聞社 相双支社(南相馬記者クラブ会員)
みなみそうまチャンネル

計 9 社

<市側>

市長 林副市長 松浦副市長 教育長
小高区役所長 鹿島区役所長 総務部長 復興企画部長
市民生活部長 健康福祉部長 こども未来部長
経済部長 経済部中目理事 経済部笹野理事
建設部長 総合病院事務部長 教育委員会事務局長

計 17 人

(司会進行)秘書課長
(会議記録)秘書課広報広聴係

【市政報告】

皆さんおはようございます。
お集まりいただきありがとうございます。

はじめに、台風19号と大雨に関する話題について触れさせていただきます。

10月12日の台風19号と10月25日に発生した大雨に伴う罹災(りさい)証明書の発行状況については、11月28日時点で487件の申請があり、家屋と見なされなかった7件を除く480件について調査が完了し、証明書を発行済みとなっています。

また、市では、災害廃棄物の処理や施設修繕、被災者支援などの災害復旧等に緊急を要することから、10月15日並びに10月31日の2回、災害復旧に掛かる補正予算の専決処分を行いました。

今回の台風と大雨による市の被害額は、農林水産や土木関係合わせて、約105億円程度となる見込みで、現在も被害状況の調査に当たっており、再度、補正予算を計上する必要がある状況です。

今後も必要となる対応をしっかりと行うとともに、県にも災害復旧に関する対応について要望して参ります。

次に、今回の台風と大雨に伴う高の倉ダムの緊急放流に関してで、11月14日に住民説明会を開催すると共に、11月29日には、地区住民の皆様を対象とした被災者支援相談会を開催し、37人の方に出席いただきました。

住民の皆様から頂いたご要望やご意見を受け止め、各種支援制度を活用しながらしっかり対応して参ります。また、河川管理者及びダム管理者である県との協議も進めて参ります。

次に、前回の記者会見から最近までの出来事についてご報告申し上げます。

まず、市の戦没者追悼式についてです。

11月12日に、多数のご遺族、ご来賓の皆様をお迎えして、市戦没者追悼式を開催しました。

当日は、先の大戦で亡くなられた多くの方々に対して、市民を代表して謹んで哀悼の誠を捧げて参りました。

今日の平和と繁栄が戦没者の方々の尊い犠牲の上に築かれたものであることを忘れずに、戦争の悲惨さと平和の尊さを次の世代へとしっかり継承して参ります。

次に、相馬野馬追振興秋季競馬大会についてです。

11月17日に、台風19号の影響で延期となっていた相馬野馬追振興秋季競馬大会が執行委員会の主催で開催されました。

当初、会場として予定していた雲雀ヶ原祭場が、台風19号の大雨によって走路の土砂が流出するなど大きな被害を受けましたが、関係者の皆様のご協力もあり、会場を馬事公苑に変更して、無事に開催することができました。

来年の春季競馬大会は、雲雀ヶ原祭場で開催することができるように、復旧に向けて、相馬野馬追保存会と執行委員会、並びに国や県と協議を進めているところです。

次に、南相馬市の避難指示解除後の復興・再生に向けた協議についてです。

11月18日に、国や県などの関係機関と、南相馬市の避難指示解除後の復興・再生に向けた協議をいたしました。

これは、本市の旧避難指示区域を中心に、本市の現状と課題について意見交換を行うもので、4回目の開催となる今回は、復興・創生期間後の支援継続、更には有害鳥獣の広域的対応などについて協議を行ったところです。

次に、市内の商工業に関する内容です。

11月20日に、東京都で市主催の首都圏誘致企業懇談会を開催しました。

当日は、本市と繋がりがあある企業19社の皆様にご列席いただき、本市へ立地いただき50年目を迎えられる酒匂(さかわ)製作所、藤倉コンポジット、三尾製作所に、感謝状を贈呈させていただきました。

懇談会では、私から、市のロボット振興ビジョンの実現に向けた取り組みとして、市内工業団地の状況や、研究・開発事業者の拠点として整備を進めている復興賃貸事務所などについて説明を行いました。

今後も、地域経済の更なる発展に資するため、積極的なPRに努めて参りたいと思います。

また、11月22日には、アイリスオーヤマの関連会社であるアイリスプロダクトが南相馬市復興工業団地に工場を新設するという報道がありました。

大変喜ばしく、本市における復興を一層加速させるものであると大いに期待しています。

次に、野馬追の里健康マラソン大会についてです。

昨日、実行委員会主催で、第32回野馬追の里健康マラソン大会並びに第14回ウォーキング大会を開催しました。

今年も、全国各地から大勢の方にお越しいただき、速報値ですが、3,291名の皆様にご参加いただきました。

参加された皆様、並びに大会の開催にご尽力いただきました関係者の皆様、ボランティアの皆様に、この場をお借りして、感謝申し上げます。

続いて今後の主な話題について触れたいと思います。

まずは、行政経営方針の策定についてです。

「令和2年度行政経営方針」を策定しました。

今般の台風19号等の対応も含め、本方針に基づき令和2年度の予算編成方針や予算要求、組織運営などを行い、「100年のまちづくり」に向けて、着実に取り組んで参ります。

詳細はのちほど復興企画部長より説明させていただきます。

次に、市議会定例会についてです。

今月の第5回南相馬市議会定例会に提出させていただく案件の要旨について、概要を説明させていただきます。

今回の提出案件は議案が25件、報告が1件の計26件を予定しています。

議案については、会計年度任用職員の給与などを定める条例などを提出するほか、補正予算として、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会における聖火リレーとセレブレーションなどに係る費用、高齢者のアクセルとブレーキの踏み間違いを防止する安全運転支援装置の取り付けに係る助成費用、小学校教科書改訂に伴う指導用デジタル教科書の購入費用などを計上する予定です。

詳細はのちほど総務部長より説明させます。

次に、市園芸作物の新たな取り組みについてです。

市では、県とJAふくしま未来、イオンなど関係機関と連携し、新たな地域振興

作物としてロマネスコの生産に取り組み始めました。

ロマネスコは、市場からの需要が高く、本市で多く生産されているブロッコリーの栽培方法が転用できることから、生産者が取り組みやすいなどの利点があります。

需要が高まるクリスマス商戦に合わせて、12月中旬からイオンの販路を通じて、東北エリア全域で販売を行う予定です。

この取り組みが、市農作物の産地化や振興・発展につながることを期待しています。本日は、ロマネスコの現物を持ってきましたので、詳細はのちほど経済部理事より説明させていただきます。

私からの報告は以上です。各部長による報告のあと、皆さんからのご質問をお受けいたします。

【各部からの報告】

総務部

- ・第5回南相馬市議会定例会市長提出議案の要旨

復興企画部

- ・令和2年度行政経営方針について
- ・南相馬市ふるさと応援寄附金の取り組みについて

経済部

- ・南相馬市産ロマネスコの生産振興に向けた新たな取り組みについて

【各部からの報告（資料提供のみ）】

こども未来部

- ・おだか認定こども園内覧会の開催について

教育委員会

- ・中央図書館10周年記念チラシの配付について

【質疑応答】

質問1：

東京2020関連事業についてです。現段階で決まっている事業の中身を教えてください。

回答1：市民生活部長

現時点で公表されているものは、3月26日の聖火リレー・セレブレーション開催と会場のみです。市では、南相馬と相馬野馬追をPRしたいと考えており、祭場地の駐車場整備や仮設照明の設置、騎馬武者の配置などを検討しています。

今後、県から詳細が公表される予定ですので、対応して参ります。

質問2：

相馬野馬追の騎馬武者を配置するとのことですが、騎馬会との連携は決まっているか、また、馬を使った催しなどを披露する考えがあるのか教えてください。

回答2：市民生活部長

騎馬会には連携を申し入れているところです。催しについては、組織委員会と調

整を図っているところで確定していませんが、市としては螺役や騎馬武者を配置したいと考えています。

質問 3 :

災害ゴミの処理費用と処分量を教えてください。

回答 3 : 市民生活部長

全体像はまだ見えていませんが、処理費用は概算で約 8 億円程度、処分量については、約 17,000 トンということで県へ報告しています。

質問 4 :

12月補正に災害復旧費用が含まれているのか、含まれている場合は金額と財源を教えてください。

回答 4 : 総務部長

災害復旧費用の補正予算は、12月議会に追加提案を提出する予定です。金額は、手持ち資料が無いため、この場での回答は差し控えさせていただきます。

また、財源については、農林関係の被害は国の支援を受けられないことから、県へ支援を要望する予定です。それ以外の被害については、一般財源で補正予算を計上し、国等の手当が下り次第、振替を行う予定です。

質問 5 :

高齢者安全運転支援装置設置事業は今年度限りの事業となるのか、また、国でも同様の補助について検討しているようですが、そちらが成立した場合、市の制度との併用も検討するのかを教えてください。

回答 5 : 市民生活部長

市の提案としては、今年度限りではなく、令和5年3月31日までの期間で対応する予定です。また、国の補助が成立した場合は、その内容を踏まえ、見直し等を行って参りたいと思います。

質問 6 :

台風19号による真野ダムからの送水管が破損して、相馬市、新地町、南相馬市鹿島区が断水となりました。再発防止に向けた送水管の在り方などについて、市長のお考えを教えてください。

回答 6 : 市長

相馬地方広域水道企業団の中で、正式な再発防止策の検討・協議は行っていないため、あくまで私見ということでお話しさせていただきます。

今回の被害拡大については、全ての水源が一斉に利用できなくなったということが原因となりますので、再発防止としては危険分散や送水管の危険箇所に対する再点検が重要だと考えています。

また、受水槽を使用している病院などの入院施設における断水時の給水体制についても、市として災害計画のようなものが必要だと考えています。

質問 7 :

台風関連の被害額総額を教えてください。

回答 7 : 復興企画部長

災害関連の被害額は、現在も調査中で、確定していません。

道路、河川、農業関係については、来年 1 月にかけて、国の査定を受ける予定ですので、これらの過程を通して被害額の確定を進めたいと考えています。

質問 8 :

高齢者安全運転支援装置設置事業は、全国や県内での取り組みとしては、どの程度進んでいるものなのか教えてください。

回答 8 : 市民生活部長

市で調査した限り、県内自治体で取り組んでいるところはなく、全国で見ると東京都など 15 自治体程度が取り組んでいるようです。

質問 9 :

高の倉ダムの住民説明会等で話があった利水ダムの貯水率見直しを県と検討する件について、その進捗状況と、事前放流を可能とするために治水ダムにすることを検討しているか教えてください。

回答 9 : 市長

県への申し入れは喫緊の問題と捉えており、要望を行う予定ですが、現在のところ、前段である事前放流の考え方や、水田面積の減少に伴う必要な貯水率の見直しなどについて要望内容を検討しているところです。

国でも利水ダムの運用を見直す話が出ているようですので、その動きも期待しています。

質問 10 :

台風対応で市職員が亡くなられた件に関する第三者委員会の設置について、進捗状況を教えてください。

回答 10 : 市長

第三者委員会については、設置条例や補正予算を議会で審議をいただく必要があることから、12月議会で審議いただけるように準備を進めているところです。

質問 11 :

ダムの話に関する県への要望はいつ頃行う予定となっているか教えてください。

回答 11 : 市長

未確定ですが、12月1週目には行いたいと思います。

質問 12 :

県への要望は12月1週目中とのことですが、具体的な要望内容を教えてください。

回答 12 : 市長

あくまで予定ですが、河川整備、ダムの貯水、事前放流などダムの運営管理に関

するものと、その他に高の倉ダムの放水や河川越水、土砂撤去、場合によっては河川の嵩上げなどについて要望したいと考えています。

質問 1 3 :

高の倉ダム近隣住民の生活再建に向けた補償に関する考えを教えてください。

回答 1 3 : 市長

取り急ぎ、高倉の方々を対象として説明会を先週金曜日に行ったところで、現在は改善策など対応について協議を始めたところです。

生活再建に向けては、個人毎に状況が異なりますので、そうした状況を伺いながら対応していく予定です。

質問 1 4 :

県への要望について、もう少し具体的に教えてください。

回答 1 4 : 市長

緊急放流はダム本来の役割であり、今後も実施される可能性があります。

今後に向けては、ダムからの効率的な放流に向けた整備や、現状の水田面積を踏まえた貯水量の調査、ダムからの放水量を増やす方策などについて県と検討を進められるように要望してまいりたいと思います。

質問 1 5 :

ロマネスコに着目した理由と、今後の取り組みについて教えてください。

回答 1 5 : 経済部理事

着目した理由としては、これからの時期が収穫期となる野菜であること、クリスマス商戦に合わせて販売できること、生産方法がブロッコリーと類似していることなどが挙げられます。

今後の取り組みとしては、県内の主な生産地である会津地方での生産が霜の影響で止まる見込みであることから、クリスマス商戦に向けて南相馬市産ロマネスコを販売していく予定です。

回答補足 1 5 : 市長

新品種を市場投入すると消費者ニーズが変化します。いかに早くそのニーズに対応していくかということが重要だと考えています。